

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は、2024年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則ならびに競技注意事項により実施する。なお、本大会は広告規定を適用する。
 - ① ウォーミングアップやダウンは、サブグラウンドを使用し、団体責任者及び保護者立ち合いのもと行う。室内練習場は、使用禁止とする。
 - ② 招集所は100mスタート地点スタンド後付近招集広場で行う。
 - ③ 点呼時間帯 *プログラム記載時刻
 - ④ トラック競技に出場する競技者の腰ゼッケンは、招集場所での点呼時に係から受け取る。返却は、ゴール後に自分で腰ゼッケンを外し回収かごに入れる。
※規格サイズ外、手書きのアスリートビブスは使用できません。
(規程規格サイズ 240×160)
 - ⑤ 招集完了後、トラック競技は競技10分～15分前までに出発点付近に集合する。フィールド競技は練習時間等があるのでプログラムに示された招集完了時刻に集合し、審判の指示、出場確認をうける。
 - ⑥ 競技終了後は、審判の指示により速やかに退場する。
 - ⑦ 記録速報掲示はしません。沖縄陸上競技協会ホームページに掲載する。
又は当日QRコードを案内します。
 - ⑧ ゴミは、全て持ち帰る。
 - ⑨ 大切な連絡は放送をするので、しっかり聞き対応する。
 - ⑩ 【重要】ホームページ掲載の競技日程は、変更する場合があります。大会当日のプログラム冊子に掲載された競技日程を最新とする。
2. 競技について
 - (1) 事故防止のため短距離走では、ゴール後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。
 - (2) トラック競技のスタート時、他の競技者の邪魔になるような発声をしてはならない。
 - (3) 欠場者のレーンはそのままあける。
 - (4) 長距離種目で競技進行上大幅に遅れた選手は審判長の権限でレースを中止させることがある。
 - (5) 走幅跳は申込み多数のため、3グループに分けて競技を行い、全競技者に3回の試技を与える。3回目終了後の上位8名による試技は行わない。
 - (6) 三段跳は申込み多数のため、2グループに分けて競技を行い、全競技者に3回の試技を与える。3回目終了後の上位8名による試技は行わない。
申告記録の上位の競技者を1グループ、下位の競技者を2グループとし、踏切板から砂場までの距離は1グループ13m、2グループ12mとする。

3. 用器具について

- (1) 競技に使用する用器具は、棒高跳びポール以外、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。
- (2) 投てき用具の持ち込みを希望する者は競技開始 100 分前から、70 分前までに主催者に申し出て検査を受けること。なお、検査に合格した際は、一括借り上げとし、他の競技者も共有できる者とする。また、その際破損等があった場合も、主催者は一切責任を負わない。
- (3) 跳躍、投てき競技の助走に使用するマークは主催者が用意する。

4. 競技用スパイクピン・シューズ底の厚さについて

本競技場は全天候舗装であり、スパイクピンの長さは 9mm 以下とする。
走高跳・やり投は 12mm 以下とする。

※詳細は陸上競技ルールブック競技用靴に関する規定に掲載。

5. その他

- (1) 団体での控え場所は芝スタンドとする。
- (2) スタンド下通路及び雨天練習場付近の選手控場所設置は禁止する。
- (3) 競技場（練習場も含む）に商社名、商品名のついたものを持ち込むことはできない。詳細は「競技会における広告及び展示物に関する規定」に準じる。
- (4) 記録の証明を希望する競技者は、記録情報室に 300 円を添えて申出をし、60 分後に受け取ること。
- (5) 抗議申立書は競技規則 TR 8（国内競技会）によって総務に提出する。
- (6) 競技場内での写真・撮影は、許可された報道カメラマンのみとする。
- (7) 競技会場内で撮影された競技写真及び動画の著作権については、大会主催者に帰属するものとする。SNS 等に無断で配信する行為は厳禁。法的に訴える場合もある。
- (8) 個人情報 は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用しない。